



夏祭りに奉納される等身大ジオラマフィギュア

川合神社夏祭のだし



指定区分	県指定重要無形民俗文化財
読みかた	かわいじんじやなつまつりのだし
所在地	吉備中央町湯山
指定年月日	昭和30年7月19日
解説	毎年8月23日に、川合神社で催される夏祭りの行事。疫病退散・五穀豊穰を祈るため、氏子の各地区の青年が境内にそれぞれ小屋掛けをして、その中に等身大の人形を「たな」と呼ぶ仮舞台にて飾って奉納する。人形は紙・竹・桐木・藁を使い、芝居・物語・神話等の一場面から取り集めた歌舞伎風のものも多く、その豪華さを競う。
アクセス方法	岡山道賀陽ICから車で10分
公開状況	開催日：8月23日（PM7:30～10:10頃）／場所：川合神社境内／問：吉備中央町教育委員会 0866-56-9191、川合神社（当日）0866-54-0300
設備	【P】下竹荘小学校グラウンド臨時駐車場 【WC】下竹荘公民館でも使用可 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <span>駐車場 </span> <span>トイレ </span> </div>
備考	祭りの終わり頃（午後10時頃）には盛大に花火が打ち上げられます。

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要無形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	川合神社夏祭のだし
よみかた	かわいじんじやなつまつりのだし
しよざいち (所在地)	吉備中央町湯山
していたひ (指定した日)	昭和30年7月19日
せつめい	川合神社(かわいじんじや)をおまつりする地区(ちく)の青年(せいねん)たちが、人と同じくらいの大きさの人形を作り、「たな」という舞台(ぶたい)に飾(かざ)ります。人形は紙や竹や桐(きり)にワラなどを使います。物語(ものがたり)の人物(じんぶつ)などを歌舞伎風(かぶきふう)に作ります。